

常任委員・監事合同会議報告



同窓会会報
第65号

平成10年12月25日
発行所 茨城県茨城郡
内原町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-0323 TEL.029-259-2811
振替口座 宇都宮 3-1632 番
印刷所 印刷 葉印 双葉印刷

後輩進路支援 地域情報収集活動始動

都道府県「進路活動協力委員」設置で合意

平成十・十一年度会費納入促進 財政健全化目標達成悲願
平成十年十一月二十八日(土)同窓会館において別記1「名簿」委員出席の下に開かれた常任委員並びに監事合同会議は、継続審議の都道府県地域の情報収集活動への取り組みと、平成十・十一年度中間決算を主題として審議が進められた。

先ず、都道府県地域情報収集活動に関連して、同窓会への協力要請のために出席された六戸学園長並びに富山助教から、学園学生進路指導委員会の考え方について別記2に基づいた説明があり、質疑応答の結果、都道府県支部の意向に沿いながら無理のない運用を図る事で、進路活動協力委員の設置を推進する方針を固めた。

十・十一年度中間決算の状況は、収入率八四・六%に対して予算執行率は五一・四%と順調な推移ではあるが、会費収入の伸び悩みは依然として解消されず、未納会員各位の理解と協力を全面的期待を寄せるところで、別掲「会費納入のお願い」並びに納入者名簿、支部・卒業期別納入者数集計表を参考としながら、是非、納入率向上にご加担いただき、三度目の挑戦である財政健全化目標の達成を念願するものである。

会員名簿特別会計では、代金後納措置対象者二二〇名の未納金が財政負担となっており、完納を促進、最後は会報掲載督促の強行策で合意が得られた。
代金後納措置とは、名簿購入申込者のうちで、平成十年四月二十四日現在の代金未納者三三〇名に対して、五月二十五日、代金後払いで名簿を送付したものであり、二二〇名は既に納入済である。

名簿代金督促

対象・代金後納措置未納者

平成十年五月二十五日付代金後納措置によって名簿を受け取った方で、未だ、代金を納入していない方は、至急ご送金願います。

該当者は、二二〇名です。未納金額は一般会計資金を運用して立て替えておりますので、そちらに支障が生じますことをご理解ください。
【同窓会事務局】

新会員予定者交流提案

同窓会活動活性化対策の一環として、明春卒業が予定されている四年生を対象に、同窓会を理解し、活動に参画できる気持の醸成を目論見とした交流会を、明年二月上旬頃までに開催することで合意が図られた。

会長、副会長及び事務局が一丸となってこれに当たる。
本会としては、四年制農業・生活専門学校《鯉淵学園》最初の卒業生を会員として迎えるに当たり、長年の懸案事項である皆終身会費制を発議し、かつ、卒業時納入を提案、導入して、毎年、会費徴収に係わる事務を軽減する絶好の機会と判断、交流会を計画するものである。
学園の協力の下、日程調整等、具体的作業を開始する。

【別記1】

常任委員・監事合同会議 出席者名簿

(役職・氏名・所属・卒期の順)

会 長	福丸 博房 埼玉⑨
副会長	高橋 隆二 茨城⑨
副会長兼 常任委員長	吉川 昭雄 茨城⑪
常任委員	倉重 一夫 茨城⑪
	(茨城県支部長)
	真下 寿宜 茨城⑪
	稲川 正夫 茨城⑬
	根本 保夫 茨城②⑤
	大竹 勝次 栃木⑭
	住吉 達男 東京⑭
	(東京都支部長)
	笹島 竜生 神奈川⑭
	(北村康徳委員代理)
	佐藤 利文 学園⑬
	秋葉 勝矢 学園⑬
	白上 忠男 東京⑨
監 事	砂田 義雄 学園⑤
	満永 正昭 千葉④
協会理事	六戸 弘明
学園長	富山 正直
学園助教	岩持 文彦 学園⑦
事務局長	(以上 十八名)

進路活動協力委員設置概要

学園からの要請は、別記2「同窓会への進路指導に関する協力要請について」に示された通りであるが、本会組織並びに支部の実情から考えて、画一的実施には困難性が予想されるものの、可能な限りの支援を建前とする従来からの方針に従い、今回も会員、丸の工夫、努力をもって進路活動協力委員を設置、育成して、少しでも後輩の相談、要望に役立てれば、母校【鯉淵学園】の発展に直結するものであることを確信して本事業推進の根拠とするものであります。

ここで、進路活動協力委員の性格を規定する必要はありません。農業経営科及び生活栄養科の両学科の学生に対応することから、各都道府県、名の協力委員を設置することになります。人選は、支部長に委任、支部長兼務でも支障ありません。

進路活動協力委員の推薦は、会長が支部長に依頼し、支部長からの報告を受けて学園長に内申します。協力委員は、学園長から委嘱されることとなります。委嘱状の交付とか費用に関しては保留、精神的負担軽減の面からボランティア活動寄りをご理解ください。

具体的に地元茨城で実施した「業界ガイダンス」の例を挙げれば、病院並びに福祉施設に勤務する先輩栄養士を学園に招聘し、生活栄養科学科学生を対象として、勤務内容の現状と課題、業界動向等の説明の後に質疑を行い、併せて開催の形となった同窓会交流の成果も大好評であり、両者から、定期的開催の要望がしきりで、協力委員制度定着の足掛かりともなればと期待されている。

進路活動協力委員設置並びに運用については、各支部の事情を考慮しながら、極力精神的、経済的負担を排除して推進する方針であります。会員各位の全面的ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【別記2】

同窓会への進路指導に関する協力要請について

鯉淵学園学生進路指導委員会

一、主旨

学園生の出身地が全国各地にわたっていることを鑑み、学生が各地方の実状に即した進路活動を行っていくために、情報提供等について同窓会の協力をお願いする。

二、具体的措置

各都道府県ごとに進路活動協力委員を委嘱する。農業経営科学科、生活栄養科学科の両学科の学生に対応していただけるように、都道府県毎にできるだけ2名の方に委員を委嘱したい。

協力委員には、学生からの要請に応じて、無理のない形で進路に関する情報と関係の同窓生のご紹介をお願いする。

協力委員の任期は、1年程度とし、人選は同窓会役員にお願いする。

協力委員には、学園長より委嘱状をお渡しする。

学園側は、協力委員に年度当初に、当該都道府県出身学生の進路希望の概要、及び進路指導方針に関する資料をお届けし、年度末には進路活動の結果をご報告する。協力委員と協力を要請する学生との関係は直接コンタクトを原則とするが、学園側は、できるだけ協力要請の状況を把握しておくように努める。

三、運用フロー

同窓会への人選の要請（前年11月頃）
協力委員の委嘱（1月）

学生への協力委員リスト（氏名、連絡方法等）と協力要請手順マニュアルの配布（1月）

協力委員への関係資料の送付（3月）
協力委員への進路活動についての中間報告（9月）

協力委員へのアンケート（協力活動の実状とご意見等）（11月）
進路活動についての結果報告（3月）

四、学生の対応フロー（主として四年生を想定する）

協力委員システムについての説明（リスト、マニュアル配布）（1月）
協力を求める個別学生から協力委員への連絡（依頼と事情説明、本人への連絡方法等）

当該学生からの学園の進路指導委員会への協力要請についての報告
協力委員から当該学生への情報提供

提供いただいた情報を活用した進路活動の実施
進路活動結果の報告（協力委員と学園進路指導委員会へ）
当該学生から協力委員へお礼状の送付

学生募集協力のお願について

教務部長 安藤 義道

一、学園の近況報告

十一月二日、三日の二日間、このころ恒例行事になっている学園祭が開催されました。例年にもれず周辺市民はもちろんのこと、卒業生も大勢の方々が訪れ、学園はひときわにぎわいました。

市民の人気は何といっても直売農産物で、特に今年是不順な天候で野菜価格が高騰し、野菜に人気が集まりました。売上もはじめて百万円を越しました。それに加え、今年は自治会を中心に学生が燃え、早くから準備に余念がなく、梅やビヤガーデン風のセット、学園神社の建設、銀杏並木のイルミネーション、一区画五百円のフリーマーケット、花火と企画もよかったです。

最近ではマスコミ取材も多く、就農準備校を中心に新聞では日本農業新聞が、またテレビでは政府広報番組で総理府と農水省の番組が十月に相次いで取材に訪れました。テレビは東京テレビ系列で十一月に全国に放映されました。

二、推薦入学試験に五〇人が応募

十一月十四日、十一年度学生募集の推薦入学が実施されました。全国から五〇名の応募があり、全員が受験しました。内訳は農業経営科学科が二七名、生活栄養科学科が二三名です。出身県別内訳は、茨城県が生活栄養科学科を中心に一

一名、山形県と沖縄県が四名、宮城県・群馬県・福島県が三名といったところです。

試験といっても一時間の論文試験と、約十分の面接ですが、受験する高校生たちは少し緊張気味に受験に臨んでいました。それでも最近では、かなり高校の方で受験指導が行き届き、面接を担当した先生方の話ではそつなく面接をこなす高校生が多いという評価です。

三、一層の学生募集協力のお願いと今後の願書受付について

とはいえ、五〇名は昨年と全く同じ数で、昨年は最終的に志願者数が一一八名で、入学者数が一〇三名に終わったことから学園では定員の二〇名確保が危ういと危機意識を持っておりま

す。今年は何とか定員を確保しようと推薦入学の基準を見直したり（全科目平均をこれまでの三・五から三・三に）、補欠入学制度の導入をしたり（平均を三・〇以上）、学校訪問を増やしたりできるかぎりの努力はしているつもりです。どうか卒業生のみならず身の回りの受験生に学園を紹介して頂きたいと思

います。以下に今後の願書受付予定を記載しておきますので参考にして下さい。詳細は教務係（電話）二九一二五九一二八一一、FAX）二九一二五九一六九六五）にお問い合わせ下さい。

〈願書受付〉

一般人学

前期 平成十年十二月一日

十一月十四日

試験日 一月二十三日（上）

合格発表 一月二十九日（金）

中期 平成十一年一月十五日

十一月十九日

試験日 二月二十七日（上）

合格発表 三月五日（金）

後期 平成十一年二月二十日

十一月十九日

試験日 三月二十五日（木）

合格発表 三月二十九日（月）

（一般人学の前期、中期については四年制大学との併願制があります）

〈選考方法〉

両学科とも提出書類、面接、小論文についての総合評価

〈主な取得資格〉

卒業生全員に「専門士」の称号を授与
 農業経営科学科：改良普及員受験資格
 生活栄養科学科：管理栄養士受験資格
 栄養士資格、改良普及員受験資格



平成十年・十一年度会費納入のお願

財政健全化・目標納入率四〇％達成を目指して

未納会員のご理解とご協力に期待

同窓会運営の基盤である会費収入は、別掲「都道府県別、卒業期別会費納入者数集計表」に示す通り三一・五％の納入率であり、平成八・九年度同期に比較して一％の伸長ではありますが、目標とする合計納入率四〇％には及ばず、依然として低調な成績であります。

従って、事務事業の執行に当たっては常に困難の極め、工夫の限界に喘いでいるのが何時にも変わらぬ事務局の現状であります。この苦しい台所事情を、各位のご支援により吹き飛ばして下さるようお願いいたします。

会費未納の方は、至急、ご送金くださるようお願い申し上げます。払込取扱票（郵便振替票）紛失の場合は、事務局にご請求ください。

祝 受 賞

埼玉県支部 四期生 大竹 秀夫氏

勲四等旭日小綬章

兵庫県支部 十期生 加藤 整氏

第20回農協人文化賞（一般文化部門）

本賞は、多年にわたり農協の発展に献身的に寄与した「隠れた功績者」に贈られるもので、学園関係では、故鞍田先生、宮島先生に次ぎ三人目の受賞である。
社団法人農協協会・農業協同組合新聞社共催
表彰式・平成十年五月二十九日 於・東京大手町Jビル

支部・同期の動向

茨城県支部会員八〇〇名突破 総会代議員制導入

所在判明会員八二八名と膨れ上がった茨城県支部では、平成三年からの体制である県北、県央、鹿行、県南及び県西の五分会に加えて、卒業同期会を新設し、それぞれ代議員を選任して総会を構成する規約改正案を、去る八月七日開催の総会に提案し承認された。

同時に、支部長以下新役員が選任されて執行部刷新が図られ、今後の活動に期待が寄せられる。

茨城県支部以外でも、群馬及び静岡の両支部で新支部長が誕生した。

なお、今回報告の支部総会及び同期会等開催が思いのほか多く、記事を圧縮して写真紹介に重点をおきましたのでご了承ください。また、投稿記事は、原文通りの掲載ですが、少し、文字入れ換えの箇所もありますのでお許しください。

支部並びに同期会の開催状況等次の通りです。会議概要として、◆開催年月日◆会場又は開催地 ◆代表者 ◆出席者又は人数 ◆主なる会議内容の順に掲載する。丸数字は卒期、括弧は通信課程卒期。

第七回鯉淵学園新潟県支部同窓会だより

第七回鯉淵学園新潟県支部の同窓会が六月六日・七日の両日、新潟市鳥屋野潟の湖畔の宿で行われた。

黒石勇蔵支部長（五期）の元気な開会宣言で始まり、続いて、同窓会本部より事務局長の岩持文彦氏（七期）が学園の歴史と経営内容、他支部の話題、寮歌の作詞者のこと、学生の動向などを報告された。宮島三男元教授は中央協同組合学園の発足と学園の歴史的経緯などを懐かしんで話された。

出席者は、計三六人だったが、メッセージなどを頂いた会員二十二人もあわせ実質約六〇人が参加したことになる。

第二部は田辺扶裕子副会長（十三期）が開宴のあいさつをして、参加者が自己紹介と近況報告を行った。飲むほどにぎやかになり、宮島先生と岩持氏を中心に先輩後輩の生気が盛り上がり百人もいるように思わせるほど活気を呈した。かつての学園生活を思わせるような一時を過ごした。

最後に寮歌をやるうと声が出て、全員が肩を組み大声を張り上げ、四番まで歌った。「青春の気にもむせびいし、この手の温み忘れぬや、新生の日を呼ぼうかな」と鯉淵での青春が心に響く夕べとなった。



公務多忙の中、ボランティアで面倒を見て下さった岡本政憲（二十六期）、高橋清（十二期）の両氏に感謝したい。

付記

宮島先生は、学園五十年史別刷りの「農業協同組合科の始・中・終」（宮島三男著）を配布し、小出満二初代学園長の協同組合の精神について触れられた。さ

らに、五千円札の肖像として採用された、新戸部稲造先生の教育を受け継いだ小出先生の人と姿について心を弾ませ、詳しく話された。

第二代鞍田純学園長についても、鞍田理論と共に、当時の農業協同組合活動の使命と、明日の農業の発展を期した農業者の指導理論など、あふれる話題を昔の講義のように情熱的に語られた。参加者からは「宮島先生はいつになっても、宮島先生だなあ」などの声が出ていた。

併せて、今年五月、兵庫県に加藤整さん(十期生)が「第二十回農業協同組合文化賞を受賞した」と農業協同組合新聞に掲載された記事を持参し披露をされた。そして、わがことのように喜び話をされたのは、紙面に加藤さんが答えた「受賞は鞍田・宮島先生の指導の賜物、小出先生の墨絵の白鷺にも教えてもらいました」とした発言と生き方を多々紹介し、賞賛した。(加藤さんは、兵庫県農協中央会を退職し、現在灘生協で活躍されている)

文責 一四期生 西潟 範子



栃木県支部総会

◆平成十年六月二十日(土) 午後三時
宇都宮市堀田三丁目一六

「魚よし」

☎〇二八六三二一〇五七八

◆支部長 川上 忠⑤

◆出席者 一五名

- 湯沢 隆夫① 細川 貫一①
- 川上 忠⑤ 高島 武⑧
- 川田 浩⑫ 大竹 勝次⑭
- 斉藤 信子⑯ 塚田 一枝⑲
- 波多野 幸司⑳ 亀山 行一㉑
- 小川 泰一㉒ 高木 義枝㉓
- 手塚 貞男㉔ 池崎 誠二㉕

◆会議内容 支部運営協議、事務局長改選及び懇親会。

選及び懇親会。

◆新役員紹介(役職、氏名、卒期順)

事務局長 池崎 誠二③④

◆派遣員 岩持 文彦⑦(事務局長)

群馬県支部総会

◆平成十年七月二十五日(土)

二十六日 午後四時

◆北群馬郡伊香保町四五

伊香保温泉「千明仁泉亭」

☎〇二七九一七二一三三五五

◆支部長 阿部 功④

◆出席者 一四名(記念写真紹介)

◆会議内容 支部運営協議、役員改選及び懇親会。

懇親会。

◆新役員紹介(役職、氏名、卒期順)

支部長 松井 孝司②④

事務局長 土屋 実②④

同窓会本部

常任委員 田部井 敏明②④

◆派遣員 岩持 文彦⑦(事務局長)

【写真説明】

前列左から

- 田部井敏明②、飯島金次郎③
- 阿部 功④、岩持 文彦⑦
- 石田キヨ子⑭、富永 治⑨
- 後列左から
- 蜂須賀信也⑲、黒沢 賢治⑳
- 川端 志行㉑、関口 義明⑦
- 鷲坂 秀行㉒、橋本 實⑥
- 小林 弘⑭、飯塚 崇貴⑭



茨城県支部総会

◆平成十年八月七日(金)

八日 午後六時

◆新治郡八郷町小幡湯袋二二三二一五〇

八郷町国民宿舎「つくばね」

◆支部長 岩持 文彦⑦

◆出席者 三〇名(記念写真紹介)

◆会議内容 平成八・九年度事業、会計報告及び十・十一年度事業計画、予算審議決定。規約改正、役員改選、懇親会。

◆新役員紹介(役職、氏名、卒期順)

支部長 倉重 一夫⑪ 新任

副支部長 市野沢 弘⑩ 留任

真下 寿 宜⑪ 新任

野原 小右二⑪ 〃

寺田 忠 啓⑫ 〃

稲川 正 夫⑬ 〃

本宮 好 美⑫ 留任

監事 新地 通 哉⑬ 新任

同窓会本部

常任委員 倉重 一夫⑪ 新任

真下 寿 宜⑪ 〃

稲川 正 夫⑬ 留任

須田 哲 也⑯ 〃

根本 保 夫⑮ 〃

来賓 学園長 穴戸 弘 明

◆派遣員 副会長 高橋 隆 三⑨

〃 吉川 昭 雄⑪



【写真説明】
前列左から
坪野敏美⑦、岩持文彦⑦、張替誠一郎⑤、
中村恵一④、六戸学園長、高橋隆三⑨、
鈴木光雄⑧、市野沢弘⑩
中列左から
梅崎孝臣⑬、増山 勝⑦、須崎智久⑧、
中村信夫⑦、従業員B子、倉重一夫⑪、
従業員C子、志賀陸男⑪、本宮好美⑫、
松田晴信⑦、稲川正夫⑬
後列左から
吉川昭雄⑪、西村勝夫⑫、大島武男⑨、
従業員A子、南 一郎⑬、廣原宗次⑦、
岡本 寛⑪、野原小右二⑩、柴崎正治⑦、
大岡哲雄⑫、酒寄泰明⑫、谷澤 治⑫、
羽生 重男⑫、平沼常雄⑫



静岡県支部総会
平成十年八月三十日(日)
十一時三十分～午後四時
静岡市静岡駅前「日興会館」
支部長 村 田 和 彦⑪
出席者 一四名(記念写真紹介)
◆会議内容 支部運営協議、役員改選及び懇親会。
◆新役員紹介(役職、氏名、卒期順)
支部長 平 石 五 雄⑬
副支部長 高 橋 紀久夫⑫
副支部長兼事務局長 新 関 八千代⑫
【写真説明】
前列左から
平石五雄⑬、村田和彦⑪、大石道夫③、
加藤昭三郎③、松永彦三郎③
後列左から
東美紀子(四年在学)、羽柴秀一⑤、
田代みよ子⑫、新関八千代⑫、内山澄治⑨、
角替道正⑩、高橋紀久夫⑫、今村逸雄④
(写真不在・大多和凱介⑫)



山口県支部総会
平成十年九月六日(上)
萩市内
支部長 原 田 美 幸⑨
出席者 一七名
◆会議内容 支部運営協議及び懇親会。

【写真説明】
前列左側から
二列左側より
三列左側より
後列左側より
升田文夫⑬、沖田清次⑪、山根廣海⑦、岩持文彦⑦、田中 幸⑬、
佐藤 存④、梅本亀男④、阿部 孝⑬、高田芳憲⑫、中西孝通⑬、
大西繁松⑬、走出栄八⑬、中井 弘⑫、薄網久義⑧、福家正直⑨、
松本和恵⑫、美馬信子⑫、篠原和郎⑬、荒木良司⑬、柿川武司⑬、
石橋孝一⑨、小野 武⑨、三品賢二⑨、井川晃博⑫、橋本 潔⑫、
宮本規次⑫、野村俊一⑫、島村 衛⑬、渡辺光男⑬、橋本 潔⑫、
早川 良⑫、野島利明⑨、米澤智信⑫、長 濱 修⑫、
中橋清美⑫、坂口利久⑫、米澤智信⑫、長 濱 修⑫
(写真不在・吉田哲雄⑩)

北海道支部総会
平成十年十月二十四日(上)
午後三時～午後六時
札幌市中央区北三条西七丁目
フジヤサントラスホテル「富士の間」
☎〇一一二七一一三三四四
支部長 田 中 幸⑬
出席者 三七名(記念写真紹介)
◆会議内容 支部運営協議及び懇親会。
◆派遣員 岩 持 文 彦⑦(事務局長)

京都府支部総会

◆平成十年十月二十四日(土)

午後十二時～

◆福知山市厚小字城山十三

スカイランドホテル

☎〇七七三―二三一〇九二二

◆支部長 藤井文信④

◆出席者 一六名(記念写真紹介)

◆会議内容 事業、会計報告並びに支部運営協議懇親会。

◆派遣員 福丸博房⑨(公長)



【写真説明】

前列左側から 片山 茂④、岸本久一郎⑩、藤井文信④、福丸博房⑨、
稲上 知①、金田裕章②、波多野勲⑪
後列左側から 正木 明⑫、安井利幸⑮、岡井明美⑭、上山重晴⑬、
吉田淑子⑯、森田愛子⑰、和田和子⑱、竹村敬子⑲、
岡本嘉明⑳

岩手県支部総会

◆平成十年十一月十四日(土)

午後四時～

◆花巻市台温泉台二二〇

松田屋旅館

☎〇一九八―二七―二三五六

◆支部長 芳賀正美⑩

◆出席者 二五名(記念写真紹介)

◆派遣員 岩持文彦⑦(事務局長)



【写真紹介】

前列左側から 高橋貞雄⑭、小川昭伍⑤、箱石 正④、芳賀正美⑩、岩持文彦⑦、
小野寺芳男⑨、高橋利清⑨
中列左側から 佐々木一夫⑰、上沢基主⑱、佐藤共成⑪、阿部 豊⑨、熊谷嘉之助⑧、
及川敬士⑨、菊池博美⑱、加藤謙次⑬
後列左側から 細川隆造⑳、久慈宗悦㉑、留場栄一⑬、藤沢勝章⑱、箱石和子⑨、
上杉三郎㉒、菅原 彰㉓、加藤勝信㉔、千田由春㉕
(写真不在・斎藤裕夫⑰)

七期生第七回集會

◆平成十年九月二十五日(金)

午後二時

◆会議内容

平成九年度事業、会計報告
並びに十年度事業計画、予
算審議決定。懇親会。

◆派遣員 岩持文彦⑦(事務局長)

◆第一会場 鯉淵学園
第二会場 茨交大洗ホテル

☎〇二九―二六七―二二五一

◆東茨城郡大洗町磯浜町六八八一

◆出席者 二五名

◆招待客 恩師 近 秀次先生
恩師 酒井 昭子ご夫妻

◆派遣員 酒井 昭子ご夫妻



【写真説明】

前列左側から 増山 勝、吉澤秀子、関口義明、酒井先生、近先生、齊藤武雄、
内藤 澁、中島義徳
中列左側から 佐々木羊三、廣原宗次、奥田勝巳、小泉 恒、山下耕一、坪野敏美、
鈴木 實、黒崎正治、松田暁信
後列左側から 立見健祐、岸岡 昇、寺尾政勝、矢澤 亨、中村信夫、本田親弘、
酒井夫人、岩持文彦

第八期同期会

◆平成十年十月十七日(土)

十八日 午後三時

◆長野県松本市浅間温泉「ホテル井筒」

☎〇二六三―四六一―二二〇

◆出席者 二十七名

◆招待客 恩師 宮島 三 男先生

同窓会事務局長

岩持 文彦⑦



【写真説明】

前列左側から 関 和夫、原口豊治、中山 仁、岩持文彦⑦、宮島先生、
阪衛睦子、中込とも子⑨、南山夫人、平谷夫人、箱石和子⑨
中列左側から 小平 伸、伊藤清之助、矢部 泰、桜井睦男、阪衛克己⑤、
中込 武、南山隆生、平谷資利
後列左側から 松村義明、赤穂恒人、蓑毛邦夫、吉谷 激、柴田十四生、
高島良哉、坂田栄八、伊藤伸史、箱石 正④

十期生同窓会

◆平成十年十月二十日(火)

二十一日 午後三時

◆秋田県田沢湖町・国立公園十和田

八幡平田沢湖高原「駒草荘」

☎〇一八七―四六一―二二〇

◆出席者 四一名

◆招待客 学園長 穴戸 弘明先生

九期生 渡部 茂(地元)

同窓会事務局長
岩持 文彦⑦



【写真説明】

前列左側から 平原 勝、高木重成、奥野正篤、鈴木辰男、渡部 茂⑨、
小西三治、高橋忠助、穴戸学園長、岩持文彦⑦、須田鉄二、
秋山八千代
中列左側から 高木夫人、平原夫人、日高夫人、奥田和夫、藤巻俊彦、
福沢正陽、井上 薫、水沢紀子、菊池芳子、小島千代、
原田耕作、唐橋勇吉、駒井夫人、梅原夫人、後谷夫人
後列左側から、
駒井浩一朗、加藤 整、篠原要一、梅原 進、山本久雄、
日高諦進、細田修理、石郷岡康男、幡田実文夫、志田定夫、
佐藤 康、川上進助、二瓶重喜、高橋 久、後谷信一

熊本県支部 不知火会夏季鍛練報告

事務局 吉丸 民雄⑳

平成十年七月二十五、二十六日、紺碧
の海とキラシタン浪漫の地大草本渡市を
舞台に、二六名が参加して繰り広げられ
た会員、家族夏季鍛練行事は、森川会長
挨拶の下に生きのいい海の幸を満喫しな
がらの交流に話題が尽きなく、最後は、
カセットテープの伴奏に寮歌を合唱して
一日目のお開きとした。

翌朝、吉木、平野両氏の案内により、
舟釣り、天草名所めぐりを楽しみ、午後
散会した。
記念写真は、本渡市「松屋旅館」にて
撮影、元氣証明の挨拶とする。



前列左側から
平野方樹②、吉田喜幸⑩、坂田秀雄③、
吉本富男②、鹿江琢史③、山本正人③、
山本夫人、高木重成⑩
中列左側から
高橋直子②、橋口とも子②、坂田夫人、
原田健二⑨、中村眞輔⑨、中村夫人、
東 善明⑨、東夫人、田上輝昭⑨
後列左側から
宮崎大平②、田端義雄②、森川紀一⑩、
井 芳美②、吉丸民雄②、那須 良②、
坂野裕文②
(写真不在・合志文夫②、松本 功②)

同窓会事務局さま

23期生 伊藤 多恵子
千葉県芝山町殿部田一八一

今日仕事（JA山武郡市勤務）から帰ってみたら、お便りが届いておりました。

『八月六日、同封の写真の方々が長野県諏訪に集い、楽しい一夜を過ごしました。前列右側は三田村君の奥様で、その隣りは松岡久子です。』と三言う短い便りと共に、この写真が入っておりました。

私は、鯉淵学園に席をおくことができ、幸せを、またまた味わうことができました。本当に嬉しかったのです。

二三期生の鳥取県出身・松岡久子さんは、学生時代：もう三十年も前のことです。…とても元気のいい働き者でした。酪農場への手伝いも二人でよくしたものです。

その彼女が、リニューマチにおかれ、この春、止むなく仕事を引退、退職記念にと痛む体をムチうっての諏訪旅行で、その計画を盛り上げてくれた方々が長野県在住同期の皆さんと、竹内さん向山さん、写真には写っておりませんが阿彦さん水口さんだったのです。

「心配しながらの旅行」を、最高の旅に、そして自分達二三期生のミニ同窓会に仕上げた方々に、あたたかい拍手を：と思いペンを取りました。

ある仲間から、「鯉淵は、僅か二ヶ年の学生生活にもかかわらず、一生の付き合いができるなんて本当に不思議！」と言う便りを頂いた事があります。その通

りです。全国の情報が見聞できる素晴らしい所、鯉淵学園です。

二三期生は、九年に北陸大会がありました。次回は福島県人会・五十嵐竹男氏を中心として三年後に予定されております。楽しみです。五十代に入っても、いつまでも学生時代に返れる不思議な所、それは鯉淵です。いい出合いをさせていただき感謝しております。

平成十年九月十日

※、有り難うございました。鯉淵の温もりが「じいん」と込みあがる思いです。これからも、仲間同志励まし合って頑張ります。頂戴した写真を掲載して全国の仲間挨拶とします。

【同窓会事務局】



平成十年度四期生会報告

「別府温泉」での集い三九名！

平成十年十月二十六日（月）～二十七日
大分県別府市上田ノ湯町「べっぷ荘」

平成四年度以降の四期生会は、地域持回りで、毎年開催してきました。今回は九州地域ということで、大分県の松尾茂己さん、丹羽新吉さん、伊達虎夫さんが担当幹事になって、お世話いただき、JR別府保養所に三二名の会員と夫人同伴者七名を交えて、楽しく華やかに総勢三九名が集いました。

今回も卒業以来始めての顔や、二十年振りの友など数名お持ちして、お互いに手を堅く握って、健在を確かめることができました。鯉淵で三年間、同じ寮で、同じ釜の飯を食べた仲間として、昔に戻り、楽しいひと夜をすごすことができました。これも幹事の皆さんの設営によるものであり



【写真説明】

前列左側から
二列左側から
三列左側から
後列左側から

甲斐希俊、折田豊、竹山秀三、折田夫人、大曲夫人、鈴木夫人、原口夫人、
荒川上二、折田越、湯川夫、湯川夫人、梅木亀男、松尾茂己、丹羽新吉、
井上昭、古家勇、西山寿、満永正昭、梅木亀男、松尾茂己、丹羽新吉、
伊達虎夫、原口隆雄、湯川掬生、片山茂、松永武之、鈴木和典、牧野忠明、
鷹齋武、小川和義、磯田保文、小林丑雄、中村恵一、大曲 榮、早上三男、
越野昭三、坂本秀夫、藤成定良、小林丑雄、中村恵一、大曲 榮、早上三男、
北山利三、荒川達男、安倍兵吾

大感謝です。

二日目は、個人の自由行動にして、それぞれがグループを組んで、地獄巡りや南九州回りなど、楽しい旅行をされたようです。

来年、平成十一年度の四期生会は、北海道地域ということで、佐藤存さん・梅木亀男さんが担当幹事になって設置していただくことになりました。その後も地域持回りで継続していくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

追記Ⅱ四期生も古希を迎え、叙勲や褒章などの受賞の慶びのニュースが多くなり、同期の仲間として、大変嬉しいことでもあります。

大沼淳さん（現文化服装学園長）が、平成元年に教育功勞により「藍綬褒章」を受賞されております。

伊福靖さん（現和歌山農協食品技術顧問）も、平成八年に果汁殺菌法の開発などの功績で「黄綬褒章」を受賞されました。

西山寿さん（元宮崎県総合農試特別研究員兼育種科長）は、平成七年に良質で食味のよい優良品種（稲）育成の功績により第十七回の日本農業研究所賞を受賞されました。

片山（旧姓吉谷）茂さん（前久美浜町長）は、自治功勞により平成十年春の叙勲で、勲五等双光旭日章を受賞されました。（事務局 中村恵一）

鯉学・農村研究会友の会

中禅寺湖畔に集う

平成十年六月十二日（十三日）
栃木県中禅寺湖畔 保養所

昭和三十年代中期もって農村問題を知り学習の意義を深めよう」と志を同じくする学園生たちの集まり農村研究会……。

その後三十余年。まじめに農業関係に取り組みその足跡も深く大きなものを残したものの、これから残そうとするもの、その連中が、奥さんなどを連れて集まりはじめ七回目（農村研究会友の会と称するものとし年一回の集い。会長・浅田昌男・十四期）。

今回は栃木県の大竹勝次さんの骨折りにより、六月十二日栃木県中禅寺湖畔に集まり、四十年ぶりの顔合わせもあり盛り上がりしました。

翌日は懐かしく日光東照宮見学し、その後、宇都宮市農林公園「ろまんちっく村」の広大で庄倒されるよな美しい花と緑と施設、沢山の参観者を楽しみ、来年は「これから」を話し合うこととして散会しました。

文責 秋田県 十五期生

深澤 慶吉



【写真説明】
前列左側から

- ⑮深澤慶吉(秋田)、⑭遠藤恒美(秋田)、⑮小嶋 宏(秋田)、⑯角山優子(新潟)
- ⑰遠藤夫人、⑱深澤夫人、⑲岩淵夫人、⑳美馬信子(北海道)、㉑桑野夫人、㉒美馬主人
- 後列左側から
- ⑳運転者、㉓倉繁 勇(新潟)、㉔大竹勝次(栃木)、㉕益子駿一(茨城)、
- ㉖遠藤弘司(宮城)、㉗岩淵 齊(岩手)、㉘浅田昌男(茨城)、㉙岡本孝夫(島根)、
- ㉚桑野 茂(北海道)、㉛岡本夫人、㉜西潟範子(新潟)、㉝竹村敬子(京都)、
- ㉞土方貞信(東京)

⑮期生 沖繩県
島仲 治伸氏

「平成十年度
全国優良畜産経営管理
技術発表会」に於て

「親から受け継いだ牛飼いの道―放牧による低コスト経営をめざして。」というテーマで発表され、最優秀賞、農林水産大臣賞を受賞された。

草地一四ha、野草地六ha、合計二〇ha（内借地七ha）、六六頭の肉用繁殖牛を経営基盤として、畜産基地建設事業等の補助事業を有効に活用し、地域特有の硬い地盤をスタビライザー工法で土壌化することにより、野草地を草地に改良すると共に各種施設の整備と無理のない増頭を行い堅実な事業拡大を実現されている。

また、氏個人のみならず、コントラクターの組織の一員としても、地域の畜産振興に大きな役割を担い、すばらしい成果をあげられている事などで、高い評価を受けられた由。

ここに島仲氏のご活躍を皆様にご紹介すると共に紙面にてお慶び申し上げます。

編集部

安藤教授、筑波大学より

学位農学博士を授与される。

安藤教授は、「現代農民のライフ・ヒストリーと就農行動（「納得論理」型農民教育の創造）」というテーマで学位論文を執筆、これが筑波大学の佐藤常雄教授、加藤衛助教授等に認められ、同大学より学位農学博士を授与された。

昭和四十七年から鯉淵学園に勤められ、二十六年間におよぶ業務のかたわら、農業日記、農業文学、白分史を研究。

さらに、農民の人生史の聞き取り調査などを実施され、三章からなる論文にまとめられた。論文の結論は「『納得論理』の農民教育から『納得論理』の農民教育へ」とある。教育とは、律ではだめだ。人、人の個性に合った手厚い教育が必要。と先生から伺った話である。なお現在、一般学術図書として文部省に申請中なので、書籍になった折には皆様も、読まれたら如何かと思う。

編集部

哀悼

北海道支部	伊藤政美③	平成九年七月五日	逝去
宮城県支部	神野国雄③	平成十年四月	受理
秋田県支部	芳賀啓喜②	平成八年七月二十日	逝去
福島県支部	鈴木重雄⑥	平成十年八月十七日	逝去
茨城県支部	吉島富弥⑤	平成九年五月七日	逝去
石井隆夫④	石井隆夫④	平成十年七月	逝去
栃木県支部	田中茂秋⑧	平成十年八月十日	逝去
千葉県支部	峰沢伊次①	平成九年七月	逝去
神奈川県支部	藤井辰生⑧	平成十年十月	逝去
長野県支部	尾花光夫③	平成十年五月七日	逝去
岡山県支部	小宮山総造⑩	平成十年四月	逝去
山口県支部	光元 寛⑥	平成十年四月七日	受理
愛媛県支部	草薙美知大③	平成十年三月	逝去
鹿児島支部	卯野新①	平成九年九月	逝去
鹿兒島支部	棟居延雄②	平成九年十月	逝去
	松浦利雄③	平成十年三月十八日	逝去
	新宮治男⑧	平成九年十月三日	逝去

常任委員・支部長異動

常任委員	田部井敏明⑩	平成十年七月二十五日新任	群馬県支部推薦
	倉重 大郎	八月 七日	茨城県支部推薦
	貞下寿宜⑩	八月 七日	（岩持文彦⑦）
群馬県支部長	松井孝司⑩	平成十年七月二十五日新任	（船橋和江⑨）
茨城県支部長	倉重 大郎⑩	八月 七日	群馬県支部総会
静岡県支部長	平石五雄⑭	八月 三十日	茨城県支部総会
			静岡県支部総会

平成十・十一年度会費納入者名簿【報告】

平成九年十月一日から十年十月三十一日までの払込通知受理分。確認と領収証書代わりの報告です。間違い、ご不審の点はご連絡ください。

また、領収証書が必要とする場合はご請求願います。
○数字は卒期、括弧数字は通信過程卒期です。

◎年度会費

（北海道）三九名	① 升田文夫	(3)	山崎政治
② 梅木亀男	② 米澤智信	(3)	乃生賢一
③ 本間 久	③ 佐々木富雄	(3)	今 良一
④ 沖田清次	④ 高田芳憲	(3)	元木利一
⑤ 俱木政久	⑤ 中川悦生	(3)	松本光男
⑥ 田中 幸	⑥ 坂本美代子	(4)	石田為雄
⑦ 島村 衛	⑦ 若宮真人	(4)	高瀬正美
⑧ 井上 栄	⑧ 結城律子	(4)	榎波 博
⑨ 谷越耕三	⑨ 川上良治	(4)	加納豊治
⑩ 塚本良浩	⑩ 菊池附治	(5)	花田弥作
⑪ 荒木良司	⑪ 小西庄吉	(5)	谷原丈夫
⑫ 渡辺 敏	⑫ 上坂與吉	(5)	上橋平哉
	⑬ 村瀬健一	(3)	沢 博

② 群馬県
中原 せつ子
五〇〇〇円
(送金残金)

③ 石川県
庭田 進
一〇〇〇〇円
(送金残金)

④ 福岡県
村田 芳郎
一〇〇〇〇円

⑤ 宮崎県
長友 光幸
一〇〇〇〇円
(送金残金)

お知らせ

最近、卒業生を対象に、鯉淵学園の新聞広告を載せるので、卒業生から寄付を募っている。という内容の電話がかかってきている様ですが、学園は関係しておりませんのでご注意ください。

【別表】

平成10・11年度会費納入者数集計表

鯉淵学園同窓会

平成10年10月31日現在

支部名	会員数	納入者数		終身既 納入者	合 計	納入 率%	支部名	会員数	納入者数		終身既 納入者	合 計	納入 率%
		年度	終身						年度	終身			
北海道	248	39	5	33	77	31.0	京都	94	20	1	23	44	46.8
青森	59	10	1	9	20	33.9	大阪	55	13	-	11	24	43.6
岩手	176	30	1	36	67	38.1	兵庫	126	52	2	11	65	51.6
宮城	82	15	-	19	34	41.5	奈良	44	-	-	7	7	50.0
秋田	95	8	2	25	35	36.8	和歌山	36	2	-	6	8	22.2
山形	200	21	-	20	41	20.5	小 計	422	98	4	75	177	41.9
福島	233	28	2	22	52	22.3	鳥取	63	4	1	9	14	22.2
小 計	1,093	151	11	164	326	29.8	島根	160	7	-	19	26	16.3
茨城	828	89	1	168	261	31.5	岡山	71	4	-	12	16	22.5
栃木	208	17	1	47	65	31.3	広島	102	16	-	19	35	34.3
群馬	118	12	-	22	34	28.8	山口	79	14	-	28	42	53.2
埼玉	169	23	1	36	60	35.5	小 計	475	45	1	87	133	28.0
千葉	182	14	2	43	59	32.4	徳島	25	1	-	5	6	24.0
東京	116	12	-	29	41	35.3	香川	29	4	-	8	12	41.4
神奈川	99	11	-	27	38	38.4	愛媛	48	3	-	10	13	27.1
小 計	1,720	178	8	372	558	32.4	高 知	39	2	-	6	8	20.5
新潟	272	34	-	57	91	33.5	小 計	141	10	-	29	39	27.7
富山	97	11	-	16	27	27.8	福岡	45	6	-	6	12	26.7
石川	55	7	-	16	23	41.8	佐賀	69	4	-	12	16	23.2
福 井	171	19	3	20	42	24.6	長崎	48	6	-	7	13	27.1
小 計	595	71	3	109	183	30.8	熊本	83	12	1	19	32	38.6
山 梨	32	3	1	7	11	34.4	大分	41	5	-	6	11	26.8
長野	284	34	2	54	90	31.7	宮崎	118	19	1	19	30	25.4
岐阜	51	12	-	13	25	49.0	鹿児島	111	12	1	24	37	33.3
静岡	98	8	-	18	26	26.5	沖 縄	142	13	-	18	31	21.8
愛 知	95	9	1	24	34	35.8	小 計	657	68	3	141	182	27.7
小 計	560	66	4	116	186	33.2	海 外	1	-	-	1	1	-
三重	12	3	-	10	13	31.0	合 計	5,664	687	31	1,064	1,785	31.5
滋 賀	55	8	1	7	16	29.1							

同卒業期別内訳

〔会員数は、平成10年5月31日現在の所在判明者数。〕
〔終身既納者は平成9年9月以前の納入者。尚表共通。〕

平成10年10月31日現在

卒期	会員数	納入者数		合計	納入率%	卒期	会員数	納入者数		合計	納入率%		
		年度	終身					年度	終身				
1	63	10	-	24	34	54.0	31	89	14	-	11	25	28.1
2	104	15	1	51	67	64.4	32	109	14	-	8	22	20.2
3	112	17	-	48	65	58.0	33	125	8	-	11	19	15.2
4	98	22	-	54	76	77.6	34	116	9	1	9	19	16.4
5	67	11	1	38	50	74.6	35	114	9	-	7	16	14.0
6	32	2	-	21	23	71.9	36	117	13	-	6	19	16.2
7	73	12	1	50	63	86.3	37	91	4	-	4	8	8.8
8	81	15	-	35	50	61.7	38	82	8	-	2	10	12.2
9	112	16	2	49	67	59.8	39	79	4	-	1	5	6.3
10	105	15	2	33	50	47.6	40	66	2	-	3	5	7.6
小計	847	135	7	403	545	64.3	小計	988	85	1	62	148	15.0
11	77	11	-	35	46	59.7	41	67	2	-	2	4	6.0
12	58	6	-	23	29	50.0	42	54	3	-	-	3	5.6
13	88	11	1	28	40	45.5	43	95	9	-	8	17	17.9
14	89	9	1	27	37	41.6	44	93	5	-	6	11	11.8
15	87	11	2	31	44	50.6	45	99	7	-	3	10	10.1
16	70	8	3	18	29	41.4	46	73	6	-	3	9	12.3
17	65	14	-	16	30	46.2	47	62	5	1	2	8	12.9
18	54	9	1	18	28	51.9	48	71	3	-	2	5	7.0
19	92	11	-	30	41	44.6	49	81	14	-	3	17	21.0
20	86	9	2	22	33	38.4	50	96	19	1	-	20	20.8
小計	766	99	10	248	357	46.6	51	127	24	1	-	25	19.7
21	86	9	2	21	32	37.2	小計	918	97	3	29	129	14.1
22	127	11	-	24	35	27.6	(1)	178	19	-	17	36	20.2
23	155	17	3	47	67	43.2	(2)	220	28	-	12	40	18.2
24	145	23	3	33	59	40.7	(3)	267	32	-	18	50	18.7
25	159	23	1	33	57	35.8	(4)	190	15	1	20	36	18.9
26	134	26	1	24	51	38.1	(5)	113	17	1	4	22	19.5
27	108	15	1	21	37	34.3	小計	968	111	2	71	184	19.0
28	85	17	-	13	30	35.3	賛助	12	3	-	-	3	25.0
29	80	5	-	18	23	28.8	合計	5,664	687	34	1,064	1,785	31.5
30	86	11	-	17	28	32.6							
小計	1,165	157	11	251	419	36.0							

酪農場(現、畜産・加工課)の新管理棟建設着工される

昭和35年に移築されて以来38年間にわたり、酪農場の教育・経営の拠点として使用されていた事務所も、平成10年9月にその役割を終え、現在その後地に新しい管理棟が建設されつつある。

38年という歳月を最も実感したのはやはり保管備品、書類を移動した時である。若い世代ではその使用法も理解し難い年代物の測定器具や畜産用品、書類についても同様に長年にわたって蓄積された記録の山。

どれもこれも卒業生が汗しながら残してきた貴重なデータだな、などと感慨にふけりながら整理をしていると、何やら向うの方で書類整理を手伝っていた学生達が嬉々として騒いでいる。注意しようとする近寄ってみると、その学生が手にしているものは、実習の出席と成績表だった。それも現在では教壇に立っておられる先生が学生の頃のものだったのであわてて取り上げ作業を続ける様になってからやっと確認。

オール出席のA評価。流石、これが私のでなくて良かったなどと妙な安堵感をおぼえつつ整理を続けた。

この様にはらはら、ときどきの引っ越しの後、職員と学生の手により瓦が一枚一枚取り除かれ、解体された。

夏期実習の暑い最中、ひんやりとした日陰を作って、時の休息をあたえてくれ、寒風吹く冬、時の暖をとらせてくれた。苦しく楽しい思い出のつまった事務所に感謝。
編集部

加藤成一さんの手紙（前号の続き）

カウンターパートは朝7時にタイムカードを押したあと、スナックの朝食を取ります。そして、適当な時間に、テレレと言うお茶（薬草のお茶）を刺し飲みしながら休憩を取り12時半頃まで仕事し、昼食のため自宅に帰ります。そして1時半頃出てきます。私は、事務所で朝のコーヒーを一杯飲んだ後は、1時迄仕事を続けます。カウンターパートとの必要な会話はしますが、雑談には参加しません。スペイン語が良くわからないのもその理由です。この間、時々停電があり、コンピューター、電話、クーラー、水道が止まります。

電気が来るまで何もする事が有りません。1時過ぎに、持参した弁当を事務室で1人で食べます。職場には食堂は有りません。（スナック類を売る店は有ります。）

1時半から午後の仕事が始まります。街の多くの商店は3時頃まで昼休みです。

3時頃運転手が迎えに来ます。（運転手も2時間の昼休みを取ります）私は、アスンシオン市内にあるJICA事務所に、業務調整のため行きます。約50分かかります。仕事の予算申請、出張届け、報告書の提出、郵便物の受取、また会議や打合せ等のためです。そして、6時前頃、家に帰ります。運転手は6時に帰ります。

帰宅後は、日本文書類のワープロによる作成、スペイン語の勉強等をします。

このように、出張の無い時は、月曜日から金曜日まで事務所で過ごします。

2) カウンターパート

私の仕事の相手、カウンターパートは現在5人います。一番年長は38歳の女性（既婚）で、次いで35歳、34歳、30歳、20歳の男性です。3人はアスンシオン国立大学農学部卒、2人は農業専門学校卒です。この他、普及局の局長、次長が仕事を進める上での相談、交渉相手となります。

4人は野菜栽培の専門技術員で、トマト、メロン、ピーマン、イチゴその他野菜の作り方の指導ができます。彼らは、日本、台湾、イタリア、ブラジル等に長期の研修に行っています。唯一の難点は、英語が話せないことです。しかし、聞く事、読む事は出来ます。中南米で仕事をする限り、英語を話す必要は殆ど有りません。

給料とポジションに関する限り、大卒とそれ以下の学歴ではおおきな差があります。名刺や敬称には明確な区別があります。即ち、大卒者にはINGと言う称号が使われ、専門学校卒にはB. T. Aと言う称号が使われます。そしてBTAは年齢に関係なくINGの下で仕事をします。公務員の世界では学歴が人生を決めるようです。但し、勤務が終われば、この関係はありません。皆仲間（アミーゴ）の世界になります。

ちなみに、現在、38歳の大卒のカウンターパートの月給は、日本円で基本給（税込み）が54千円、時間外手当が22千円、合計76千円です。一方、35歳の農業専門学校卒者の月給は、基本給が37千円、時間外手当が15千円、合計52千円です。（これから税金、退職金積立、共済保険金、生協への支払いが差し引かれます。）勤務時間は同じです。（20歳の彼は1時迄です）

農学関係の学校を卒業すれば、その知識を生かすには、公務員が大農場（綿工場等）で働く他、民間会社での就職口は殆ど有りません。それでも、何かいい働き口があれば、簡単に転職します。国のため、農民のためと言う滅私奉公の発想は有りません。いつも、如何に自分を有利にするかを考えています。安月給でも公務員のいいところは、1か月の有給休暇が取れる事です（毎年1月）。日本人には羨ましい限りです。本当に、公務員は、労働時間から見れば楽な仕事です。

また、公務員同志の結婚が多く、また職場も同じで、公私の区別はよく判りません。どちらかという私（家族）が優先されます。家族の病気、親戚の葬式、結婚式、引っ越し等々で1～2日から1週間の休みや連絡の無い欠勤がよくあります。（もっとも電話が普及していませんので連絡のしようもありませんが）誰も文句を言いません。この国の生活習慣ですから、仕事が遅れても、私も我慢するほかありません。カウンターパート抜きで仕事は進められませんし、私は監督する立場では有りませんので何も言えず、ただ彼らが出てくるのを待つだけです、これが援助する側の日本人には一番ストレスが溜まる辛いところです。

3) 職場

仕事をする場は4か所あります。1. 事務室、2. 普及局内の野菜圃場、3. 農家の圃場、4. 研修所です。

1) 事務室：主に仕事の打合せ、研修用資料作り、報告書作成等。打合せ等の会話はスペイン語でします。どうしても話せない時は英語を使います。研修用資料作りは、日本文、英文をスペイン語文に翻訳します。これは、自費で通訳（日系人の学生）を雇ってやってもらいます。 次号に続く